

令和7年度第2回大船渡市学校支援活動運営委員会

日 時 令和7年11月19日（水） 午後2時55分～午後3時40分
場 所 大船渡市役所 教育委員会会議室
出席者 運営委員会委員 5名
菊池康幸委員長、紀室浩副委員長、中村明彦委員、菅原優子委員、
岡崎充博委員
大船渡市
生涯学習課：課長、主任
中央公民館：館長補佐
教育研究所：指導主事

[会議内容]

1 開 会

2 挨 捶 菊池委員長

3 協 議

第1号 令和7年度大船渡市地域学校協働本部事業の実施状況について
事務局から、別紙資料のとおり説明し、意見を諮った。

〈意見・質疑応答〉

【家庭教育学級（英語スクール）について】

紀室副委員長：会議のたびに申し上げているが、英語に触れる機会創出は大変良い。
しかし、前年度までの同様の講座に比べ参加者が減っているようだ。
少子化という要因が考えられるが、市の見解を伺いたい。一方、こども園にチラシを配布しているようで、宣伝もできていると感じるが、
実施アンケートでは夏休み中の開催を希望する意見もある。時期を変更する考えはあるか。

市の考え方：（中央公民館）委員のご指摘のとおり、参加者は減少傾向である。以前は申込み多数により抽選を行うほどだった。
根本的な原因ははっきりしないが、小さいうちから英語教室へ通うお子さんが年々増えており、早い段階で英語に触れる機会が多くなってきているため、需要が減少傾向にあると考えられる。
夏休み中の開催については、メインターゲットが未就学児のため、あえて夏休み中の時期にしても大幅な申込みの増加にはつながらないと考える。また、青少年体験事業が夏休み中にあるため、同時期にイベントが集中しないよう設定している。

紀室副委員長：承知した。

資料の構成として、前年比があれば分かりやすい。参加率など部分的にでも良いので、検討してほしい。

【スクールガード配置事業、学校支援事業について】

岡 崎 委 員：令和7年度の上半期の活動実績について、各校で増減が見られるが、クマの影響もあるのだろうか。私自身もスクールガードをやっており、クマの影響で児童を引率して登校することができず、自分の家の子供だけ車に乗せて連れて行っている。状況が落ち着いたら引率を再開したいが、昨今の状況を見ると、クマの対策について参考になるがあれば伺いたい。

市 の 考 え 方：（生涯学習課）スクールガードの活動実績について、クマの影響はややあるようで、毎月のスクールガードの活動報告書には、クマ出没により中止と書いているものもある。

現時点ではクマ対策は検討していないが、昨今の状況を鑑み、出来る対応はクマよけスプレーが考えられる。今後検討していきたい。

紀室副委員長：末崎町では、地区の防犯協会がクマよけスプレーを購入し、学校と子ども園に配置する活動をした。地区ごとに取り組んでもらうのが理想的だ。

市 の 考 え 方：（生涯学習課）補助事業で成り立っている事業だが、要望については県の方にも伝えたい。

菅 原 委 員：クマに関する質問だが、万が一スクールガードが被害に遭った場合補償はどのようにになっているのか。

市 の 考 え 方：（生涯学習課）市が傷害保険に加入している。

紀室副委員長：前回会議において、大船渡中のスクールガードの配置希望がないということだったが、10月から配置ということのようだ。学校の統廃合によって慌ただしい時期であったと推察されるが、支えを得られるというのは非常に良かったと感じる。

市 の 考 え 方：（生涯学習課）ご指摘のとおり、前回会議で菅原委員から貴重な提言をいただいた。市としても、学校側に困っていることはないか働きかけをして、今回10月から配置になったという経緯である。

紀室副委員長：学校も忙しく、目が向かない事がある。是非、このような事業がある、と積極的に教えていただけるとありがたい。

4 その他

事 務 局：委嘱期間は2年間。

また、今年度の学校支援活動運営委員会は、今回を含めて3回の開催を予定しており、2回目は10月に開催予定である。

5 閉 会